

長崎弁の「よか」は使えます。「よかたい」「よかよか」「よかよ」など…。どんなときに使うのか知りたい方は、長崎ソカイネットワーク事務所まで(笑)。



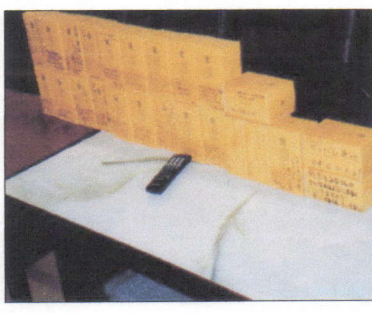
微力だけど今できることを精一杯

手づくり職人百貨店 心風 一ノ瀬寛介さん

震災から7ヶ月が過ぎようとしています。被災者のみなさん、長崎での夏、いかがお過ごしですか？
今回、ご紹介する心風(しんぷう)の一ノ瀬さんは、震災まもない時に、現地の人々とコンタクトを取り、物資を募った後、2トトラックで宮城県へ支援物資を運んだ方です。その時のエピソードを伺いました。

きっかけは、震災後に自分のお店で、宮城県産品の販売して支援したいと思ったことでした。待っているだけではダメだと思い、自分が現地へ行くこと、友達が2トトラックを出してくれました。

でも、行きは空のまま。どうせ行くのであれば、長崎から支援物資を持っていくのは、被災者からのお礼のメッセージ。



メッセージが書かれたカステラ

発行 長崎ソカイネットワーク
活動拠点 長崎市馬町21-2市民活動センターランタナ2階
常駐場所 長崎市元船4-6倉庫

も多かった。私も胸が熱くなりました。4/9に長崎を出発して、宮城に着いたのは翌日。1ヶ月経ってからもTVで観たままの状態、震度も続いていて、私が滞在した時でも、震度4の地震がありました。行つてみて改めて震災の規模の大きさに気づかれました。

川沿いで行われる「長崎夜市」で長崎ソカイネットワークのブースで県産品を販売。9/17(土)・18(日)の「居眠りまつり」の大ホールでも出店します。売上げ金は、親を失った震災孤児や、雇用の場を設ける資金にしようかと検討しています。お店やイベントにぜひ足を運んでください。

詳しいお問い合わせは 心風(しんぷう) 一ノ瀬寛介さん

【電話】095-822-1171

【FAX】095-822-1172

【営業時間】10時半～20時 休み：火曜日

2011年6月26日(日) 長崎市内の老舗料亭『青柳』さんのご厚意で、疎開してきた方を「さるく」のひとつであるお座敷体験に招待し、長崎検番による唄と踊りを堪能していただきました。また、長崎市子育て支援ネットワーク連絡会主催のフォーラム「東日本大震災の被災地の子どもたち～今私たちにできること～」(出島交流会館)のパネルディスカッションで長崎ソカイネットワークの活動を報告しました。

2011年7月4日(月) 7月1日から購読するようにした「河北新報」(東北地方ブロック紙)が届き始めました。元船倉庫において頂ければ読めます。
2011年7月3日(日) 長崎県社会福祉協議会主催の「災害救援ボランティア研修」で、長崎ソカイネットワークの活動状況や活動を通じての所感を説明しました。

急募! エアコン
現在、エアコンが不足しています。
ご家庭に使用していないエアコンがあれば、ソカイネットワークにご連絡下さい。
【連絡先】
tel 095-821-3300

2011年6月30日(木) 長崎ソカイネットワークの設立3ヶ月を記念した懇親会を開催し、広く関係者が集まって今後の方向についても議論しました。
2011年6月29日(水) 長崎市民エフエム(76.7MHz)の番組「みんなのラジオ」(12:00~13:00)で、長崎ソカイネットワークの活動を紹介しました。

ソカイネット今月の活動記録

2011年7月20日(水) 仙台の「七夕祭り」に向け、全国各地に「折り鶴」の募集がなされていますが、「長崎ソカイネットワーク」の倉庫番スタッフが空き時間に作り続けたものをこの日送付しました。
2011年7月19日(火) 武田さんほかのご協力により、疎開されてきた方向けの物資(洗濯機、洗濯干し等)を提供していただいた方のご自宅に伺い、受け取りました。
2011年7月17日(日) 福田の安心電気さんほかのご協力により、疎開されてきた方のご自宅へ家電・家具などを運び込みました。
2011年7月7日(木) 疎開してきた方々向けの広報紙「ほくほく新報」第3号お届け。